

**エアバッグのリコール届出が行われました!!
対象エアバッグの取外回収をお願いします**

平素は、エアバッグ類の適正業務の遂行にご尽力いただきありがとうございます。
さて、今般2015年9月29日付にて以下メーカーの一部車両において、リコール届出が行われました。

つきましては、以下の「2.確認手順」に従い、対象車台のリコール対策済みであるかご確認頂き、対策未実施の車台は取外回収をお願いいたします。

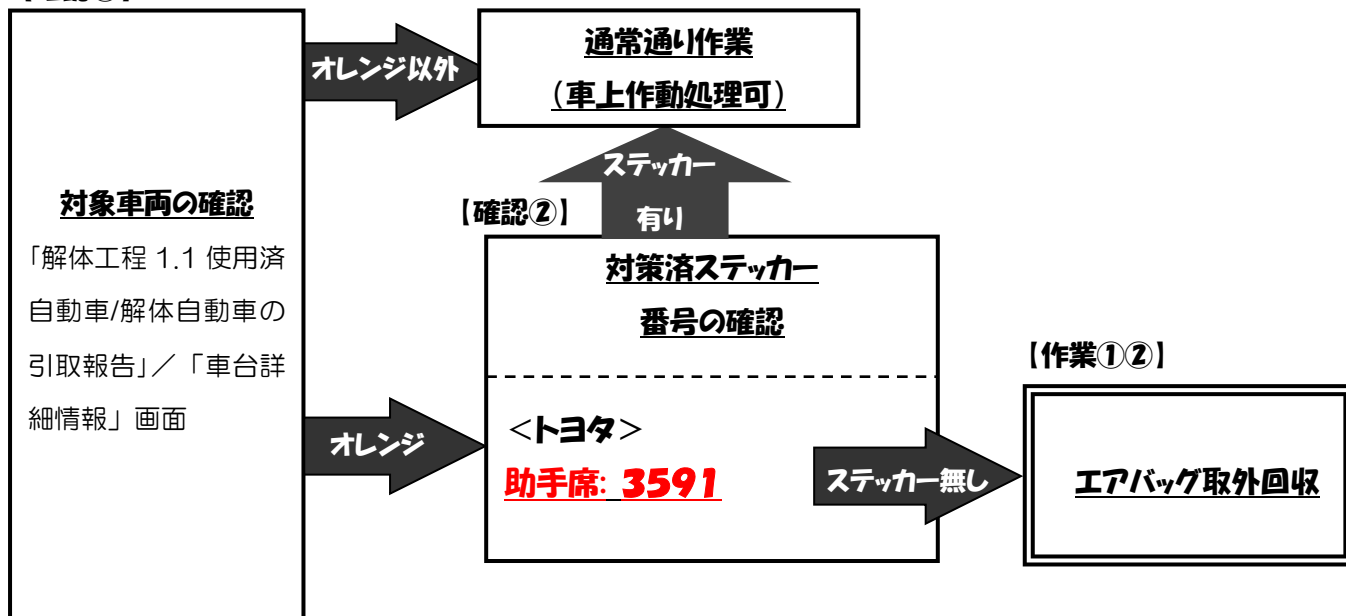
1. 対象車両

| メーカー名 | 対象車両、車台番号 | 部 位 |
|---------|---------------------------------|-----|
| トヨタ自動車株 | 平成18年生産の アベンシス、アベンシスワゴンの一部車両 | 助手席 |

リコールの詳細内容、対象車台の範囲については、以下のHPにてご確認ください。
 <国土交通省 HP> <http://www.mlit.go.jp/report/press/index.html> (平成 27 年 9 月 29 日)
 <トヨタ HP> <https://toyota.jp/recall/index.html> (平成 27 年 9 月 29 日届出)
 <自再協 HP> <http://www.jarp.org/> (平成 27 年 9 月 30 日掲載)

2.確認手順

【確認①】



自動車再資源化協力機構 (自再協)
TEL: 03-5405-6150 / E-mail: info@jarp.org

【確認①-1】対象車両の確認

解体工程「1.1 使用済自動車/解体自動車の引取報告」画面にて、背景色が『オレンジ』で表示されている車台が、リコール対象エアバッグ類装備車両となります。



👉 「1.1 使用済自動車/解体自動車の引取報告」以外の画面ではオレンジ表示されません。

【確認①-2】対象部位の確認

◆車台詳細情報画面での表示(解体工程)

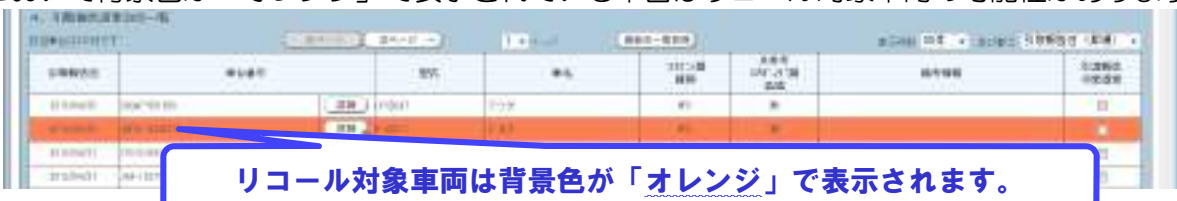
- 1) リコール対象となっている部位の背景色が「オレンジ」で表示されます。
- 2) リコールについての「メーカーからのお知らせ」が追加となり、対策済ステッカー番号が表示されます。



👉 「1.1 使用済自動車/解体自動車の引取報告」以外の画面から入った「車台詳細情報」画面ではオレンジ表示されません。

◆(解体業者兼任限定)引取工程の使用済自動車の引渡報告画面での表示(参考表示)


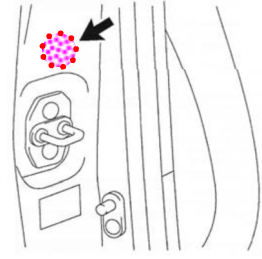
引取工程【1.1~1.2 フロン類回収業者】【1.3~1.4 解体業者への使用済自動車の引渡報告】画面において背景色が「オレンジ」で表示されている車台はリコール対象車両の可能性がります。



※自動車メーカーが実施するリコール車両の追加及びリコール対策済み車台の削除により、背景色の「オレンジ」表示は点灯・消滅することから、必ず解体工程の引取報告画面を確認ください。

【確認②】対策済ステッカー有無、ステッカー番号の確認

手順①の対象車台については、以下の内容にて確認いただき、リコール未対策の場合には、必ず取外回収を行い、作業①②に従って指定引取場所に引き渡してください。

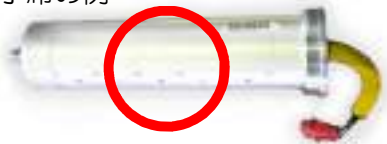

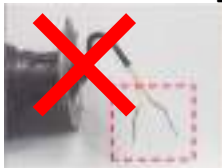
| 対策済ステッカー（例） | 貼付場所 |
|--|---|
| <p>必ずステッカー番号を確認してください。</p>  | <p>運転席ドア開口部のドアロックストライカー付近に貼付されています。</p>  |

| | リコール対策済み | リコール未対策 |
|-----|--|--|
| 複数枚 | <p>該当する全てのステッカーを貼付</p>  <p>例① 「3456」ステッカーが貼付されている</p> | <p>該当する全てのステッカー貼付</p>  <p>例④ 「3456」ステッカーが貼付されていない</p> |
| 1枚 | <p>最新ステッカーを貼付</p> <p>例② 「3456」ステッカーが貼付されている</p>  <p>例③ 「3456」以上(例: 3457)ステッカーが貼付されている</p> | <p>最新ステッカーを貼付</p> <p>例⑤ 「3456」以前(例: 3455)ステッカーが貼付されている</p>  |
| なし |  |  <p>例⑥ ステッカーが貼付されていない</p> |

(注) 車両によってリコール対策済ステッカーの貼付方法が異なりますのでご注意ください。

【作業①】エアバッグの取外回収、分解

リコール対象のエアバッグを車両から取り外しインフレータの状態まで分解したら、以下の手順に従い指定引取場所に引き渡してください。

| | |
|---|--|
| <p>【正しい性状】</p> <p>※助手席の例</p>  <p>インフレータ状態まで分解し、ハーネスを5cmほど残して切断した上で、先端の被覆をむいて撚り合わせてショートしている</p> | <p>【誤った性状 1】</p> <p>付属品がついている</p>  |
| | <p>【誤った性状 2】</p> <p>ハーネスを撚り合わせてショートしていない</p>  |

【作業②】梱包

取外し後のインフレータは以下の要領で指定引取場所に引き渡してください。

通常通り、回収袋に収納し、「全桁の車台番号（※）」を書いた荷札を付けてください。その際、荷札の車台番号を赤マジックで囲んでください。

（※）指定引取場所等での車両特定の為、車台番号の全桁記入をお願いします。



赤マジックで囲む

荷札

車台番号：TN35-680702

全桁記入！

回収ケースに収納

誤作動防止の為、ハーネスは必ずショートさせてください。



万一、事故等が発生した場合は、現場を保存（写真等による保存でも可能）の上速やかに自動車再資源化協力機構までご連絡ください。

補 足

-- 車上作動処理委託契約事業者の皆さまは、以下の作業もお願いいたします --

作動 1. リコール対象エアバッグ以外のエアバッグ類・シートベルトプリテンショナー等を車上作動処理する

- ☞ 車上作動処理を行う際は、「ガラス等の飛散防止」「通電時の距離確保と遮蔽物の設置」「周囲の安全確保」等、安全対策を確実に実施した上で通電してください。



- ☞ リコール対象席エアバッグを取外した後も一括作動処理が可能です。
- ☞ 車上作動処理実施後、速やかに処理結果を管理台帳に記入してください。
(備考欄に「助手席(リコール)は取外回収」と記入)

| エアバッグ類 車上作動処理 管理台帳 | | | 2010年10月度 1頁 | | | 解体業者名:〇〇解体△△工場 | | | |
|--------------------|--------------|----------|--------------|-----------------|-------------|-------------------|----|--------------|----------------|
| ① 事務所管理欄(1) | | ② 作業場管理欄 | | | ③ 事務所管理欄(2) | | 備考 | | |
| No. | 車台番号 | 車名 | 作動処理実施日 | 車上作動方式 個別 一括 | 処理個数 | エアバッグ類 移動報告引渡日 | | 解体自動車 引渡先 | 解体自動車 引渡日 |
| 1 | AA1234567890 | AAAAAA | 10/1 | ○ | 3 | | | | 助手席(リコール)は取外回収 |
| 2 | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | |

作動処理した個数を記入

助手席を取外回収した旨を記入

作動 2. 自動車リサイクルシステムへの入力

- ☞ 「一部取外回収・一部車上作動処理」で引渡報告します。

- ①〔解体工程 1.10 エアバッグ類処理方法の選択〕
- ②〔解体工程 1.11 および 1.12 エアバッグ類(取外回収)の引渡報告〕
回収ケースを引渡した後、『取外回収』で引渡報告します。

| | | |
|------|---------------|----------------------|
| 1.8 | 引渡報告 | 非認定全部利用者への解体自動車の引渡報告 |
| 1.9 | 引渡先確定済車台の一覧 | ※非認定全部利用者：メーカ |
| 1.10 | エアバッグ類処理方法の選択 | エアバッグ類処理方法の選択 |
| 1.11 | 引渡報告 | エアバッグ類(取外回収)の引渡報告 |
| 1.12 | 引渡先確定済荷姿の一覧 | |
| 1.13 | 引渡報告 | エアバッグ類(車上作動処理)の引渡報告 |

「回収」と「作動」の両方にチェックします。

| 回収 | 作動 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

「処理方法の選択」画面で、『回収』と『作動』の両方にチェックをした場合、「車上作動処理」での引渡報告は必要ありません。

作動 3. 管理台帳のエアバッグ類引渡報告日を記入

- ☞ 引渡報告が完了したら、管理台帳の「エアバッグ類引渡報告日」欄にその日付を記入し保管します。

| エアバッグ類 車上作動処理 管理台帳 | | | 2010年10月度 1頁 | | | 解体業者名:〇〇解体△△工場 | | | |
|--------------------|--------------|----------|--------------|-----------------|-------------|----------------|------|-------------------|----------------|
| ① 事務所管理欄(1) | | ② 作業場管理欄 | | | ③ 事務所管理欄(2) | | 備考 | | |
| No. | 車台番号 | 車名 | 作動処理実施日 | 車上作動方式 個別 一括 | 処理個数 | 確認者 | | エアバッグ類 移動報告引渡日 | 解体自動車 引渡日 |
| 1 | AA1234567890 | AAAAAA | 10/1 | ○ | 3 | 環境太郎 | 11/1 | 10/3 | 助手席(リコール)は取外回収 |
| 2 | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | |

取外回収で引渡報告した日を記入

参考**トヨタ自動車(株) 助手席エアバッグ リコール対象車両一覧**

アベンシス



アベンシスワゴン



表中の車台番号にはリコール対象外の車両も含まれております。

必ず移動報告画面のオレンジ表示および車台の「対策済ステッカー」の有無をご確認ください。

助手席

| 車名 | 型式 | 通称名 | リコール対象車の車台番号の範囲 製作期間 | 対策済 ステッカー番号 |
|------|-------------|------------|---|----------------|
| TMUK | CBA-AZT250 | 「アベンシス」 | AZT250-0034276 ~ AZT250-0035084 平成18年1月6日~平成18年3月9日 | 3591 |
| | CBA-AZT251 | | AZT251-0002640 ~ AZT251-0003800 平成18年1月6日~平成18年3月28日 | |
| | CBA-AZT255 | | AZT255-0005561 ~ AZT255-0005814 平成18年1月6日~平成18年3月22日 | |
| | CBA-AZT250W | 「アベンシスワゴン」 | AZT250-0033968 ~ AZT250-0035083 平成18年1月6日~平成18年3月13日 | |
| | CBA-AZT251W | | AZT251-0002706 ~ AZT251-0003801 平成18年1月6日~平成18年3月27日 | |
| | CBA-AZT255W | | AZT255-0005553 ~ AZT255-0005813 平成18年1月7日~平成18年3月28日 | |